

高速連続灰分分析装置 石炭灰分迅速測定炉

商品番号: KT-TE32



前書き

精密なモーター駆動チェーン搬送、1000℃までの動的熱プロファイリング、45分以内の急速予熱、そして比類のないエネルギー効率を備えたこの高速連続灰分分析装置は、世界中の高スループットを求める産業および地質試験ラボのニーズに応え、可燃性サンプルの試験を最適化します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
石炭選炭・採掘	原炭、精炭、浮選尾鉱の連続測定を行い、洗浄効率と収率の最適化を監視します。	15～50分の迅速な分析により、リアルタイムでのプラント運用調整が可能になり、可燃物の回収率を最大化します。
火力発電	微粉炭原料およびボイラー配合在庫の日常的な近接分析を行い、発熱量の計算やスラグ化指数の予測を行います。	連続投入スループットによりサンプルの滞留を防ぎ、ボイラー投入前に燃料仕様を確認できます。
冶金用コークス品質管理	コークス用石炭、冶金用コークスブリーズ、高炉噴霧燃料の灰分を評価し、スラグ負荷を最小限に抑えます。	±10℃の厳格な熱安定性により、製鉄高炉の化学反応と効率を保護する再現性の高い結果を保証します。
地質探査	地域調査中のコア掘削、堆積層、炭質岩サンプルの定量的鉱物試験。	高い試験再現性と精密なサンプルハンドリングにより、低品位および高品位地層の正確な特性評価が可能です。
化学・合成燃料プラント	石炭ガス化原料、活性炭、固体炭素質廃棄物ストリームの近接灰分監視。	連続燃焼プロファイルにより、クロスコンタミネーションや不完全な炭化水素分解を起こさことなく、正確な残留物レベルを捕捉します。
商業検査・貿易	輸出入石炭貨物、固体バイオマス出荷、産業用燃料の国際売買契約に対する第三者検証。	0.0002 gまでの高い分析精度により、公平で説得力のある貿易検査報告を保証します。
環境固体廃棄物試験	産業汚泥、固形燃料（RDF）、焼却炉残留物の灰分特性評価。	安全で安定した熱分解により、制御された連続的な炉内進行を通じて高揮発性固体廃棄物をクリーンに処理します。

仕様項目	値 / 動作特性 (モデル: KT-TE32)
製品識別子	KT-TE32
炉チャンバー全長	730 mm
恒温ゾーン長	≥ 150 mm (標準815℃で認定)
温度均一性許容差	認定恒温ゾーン内で ≤ ±10℃
最高動作温度	1000℃
昇温時間 (室温から815℃)	≤ 45分
コンベアチェーン線速度	15 mm/分 ~ 70 mm/分 (連続可変)
灰化滞留時間範囲	15分 ~ 50分 (速度に依存)

仕様項目	値 / 動作特性 (モデル: KT-TE32)
サンプルるつぼ質量範囲	0.5 ± 0.01 g
分析測定精度	0.0002 gまで正確
定格動作電力	4.0 kW
定格動作電圧	AC 220V ± 10%, 50 Hz
サンプル搬送機構	モーター駆動耐熱連続金属リンクチェーン
動作加熱モード	段階的連続供給熱ゾーン燃焼